

● 2月2日節分に「はなまる」にも鬼来て福来たる

緑の四角いボディに水玉模様のパンツを履いた可愛い赤鬼キラキラの角が2本あります、ちょっと違うところはお腹に大きな穴が空いているんです。そこを目がけて豆(新聞紙をくるみ大に丸めた豆)をぶつけて投げ入れます。

鬼は利用者様全員の側まで来てくれました。幸いにして当日は体調の悪い方が一人もいませんでしたので病棟内一斉放送で、おにのパンツ・まめまき等のソングを流しながら「鬼は外」「福は内」の声をあげました。

豆を投げられない方にはベッドの上に豆を撒き「厄払い出来ました。ご安心ください」と申し上げると本当にホットした表情で「ありがとう」と言っていました。

鬼君のお腹は 豆でいっぱいになり、皆さんの厄、悪い病気を全部詰め込んで山に帰って行きました。

鬼君が退散した後は、甘納豆や小さなどら焼きが振舞われました。飲み込むことが難しい方には、綿飴をお口に「甘～い、おかわり」皆さんの表情が生き生きと輝いていました。

利用者様のお声

- ・「職員が一生懸命に豆を手作りしてくれたのでそれに答えようと、グリップを利かして良くねらって投げたよ(この方は何時も心の内を素直に言葉にして伝えてくれます。私は見習おうと努力しています。)
- ・「可愛い鬼君 もっと見ていたかった。」 「ありがとう。」 「子供がいないと、したことがないなあ」 など翌日も豆まきの話題で会話が弾みました。



● 四人の有志の貼り絵

皆が集まって作成することが出来ないので、自室でパーツごとに分担して行いました。
おしゃべりを楽しみながらや、黙々と下を向いて喜喜として集中してやってくださった方、私は得意とばかりにもっとやりたそうな方ほんの少し達成感を感じることが出来ました。
又、やりましょうね！



● 利用者様の様子

食べる事は生きること 皆さん良く食べて元気です。
ほぼ1/3の方が自分では食事ができず職員が介助しています。
時折飲み込めず止まってしまうたり、時間がかかることも多いですが 状況に合わせて根気よく丁寧に介助して ほぼ8割以上の摂取に繋がっています。
昼食を介助しながら、夕食を食べられる力をつけるために励ましの言葉をかけている職員にいつもありがとう **生きるためにお口から食べるのが一番**

● 食堂にお雛様が飾ってあります

桃の花が咲いています。

※尚、利用者さまの写真にモザイクなどの修正は入っておりません。素晴らしい笑顔のため、御家族の了承をお願いしたところ、修正無しの写真掲載に快諾して頂きました。